

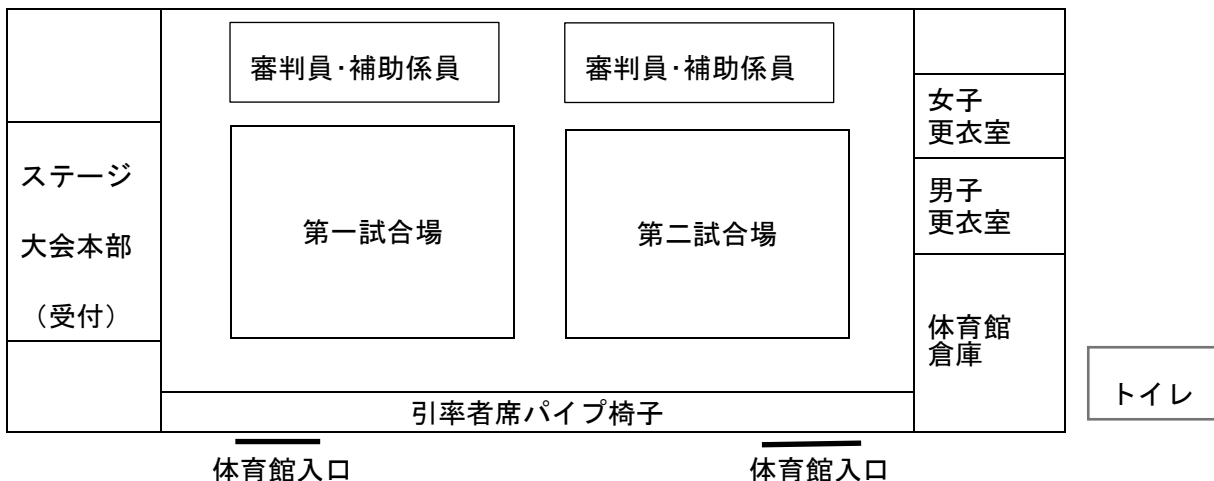
# 令和6(2024)年度 東京都第11ブロック中学校 秋季剣道大会新人大会 男女別団体戦・男女別個人戦

兼 東京都中学校秋季剣道大会新人大会（男女別団体戦）予選会

令和6(2024)年10月20日(日) 東大和市立第二中学校体育館  
東大和市南街3-60-4 ☎042-561-2328 担当 亀澤祐浩

8:00 開館  
8:30 受付開始(体育館ステージ本部)  
審判員・顧問打合せ  
9:00 諸連絡  
開会式  
試合開始(9:30予定)  
男女団体戦同時進行 → 昼休憩 → 男女個人戦同時進行  
試合終了(15:30見込)  
閉会式(16:00見込)  
16:30 片付け清掃・退館  
17:00 役員係員解散・閉館

前日会場準備 10月19日(土)  
15:00~  
東大和市の中学校生徒、  
大会役員



- ・本大会の、男子団体戦上位3チームと女子団体戦上位2チームを都大会本戦に11ブロックから推薦する。なお男女それぞれにおいて都大会本戦出場の単独校チーム最上位校に都大会本戦抽選時の位置シードを与える。
- ・都大会本戦では個人戦は行われない。個人戦はブロック大会までである。
- ・都大会本戦抽選会は10月22日(火)のため、都大会本戦出場チームは、翌21日(月)までに、各支部専門委員かブロック責任者まで申込書参加費等を提出すること。都大会本戦の申込書等を事前に作成、持参し、本大会閉会式後に提出でも可。
- ・会場校到着後、体育館西側(校庭の逆側)より入館してください。
- ・更衣室等で更衣、荷物は更衣室または体育館倉庫に置く。会場が狭いのでお互いに気遣って気持ちよく使用できるようにご協力ください。トイレは、体育館を出て、外履きで、後方の外トイレを使用して下さい。
- ・団体戦名表(模造紙縦置きで横4分の1(女子は支部名の下に赤ライン加筆))  
個人戦名表(A4縦置きで縦2分の1(女子は学校名の下に赤ライン加筆))を、受付へ提出して下さい。
- ・紅白目印(襷)、名札(ゼッケン、「中」の文字入り)、「マウスシールド(一体型可)」か「面マスク」のどちらかを必須、アイガードは任意とする。
- ・感染拡大防止に引き続きご協力ください。

主催 東京都中学校体育連盟第11ブロック  
主管 東京都中学校体育連盟第11ブロック中学校剣道部

整列、竹刀及びサポーターチェック 試合具確認、諸注意	
開会式	司会 本多 華子
開式	
来賓挨拶	
優勝旗返還	男子団体：武蔵野大学中 女子団体：日体大桜華中
大会実行委員挨拶	亀澤 祐浩
審判長説示	勝山 文也
選手宣誓	清田愛子(東大和二中)

整列	
閉会式	司会 本多 華子
成績発表	石川 大翔
(優勝・準優勝・第三位・都大会出場権獲得)	
表彰	
審判長講評	勝山 文也
閉式	

1. 主催 東京都中学校体育連盟第11ブロック  
 主管 東京都中学校体育連盟第11ブロック中学校剣道部

2. 運営組織

大会役員	会長 11ブロック長 各支部長	金子 哲朗 (足立区立江北桜中学校長・東京都中学校体育連盟会長) 小川 高弘 (東久留米西中学校長) 新野健太郎 (東村山四中校長) 佐久間 豊 (青嵐中校長) 立川 裕 (東大和一中校長) 堀内 雅之 (清瀬五中校長) 小川 高弘 (東久留米西中学校長) 福泉 宏介 (武蔵村山五四校長)
剣道部長	木村 孝治 (日野一中・東京都中学校体育連盟剣道部長)	
第11ブロック剣道競技責任者	亀澤 祐浩 (東大和二中)	
各支部剣道競技専門委員	村瀬 諒 (日体大桜華中) 本多 華子 (明保中) 菅原 将人 (武蔵村山四中) 亀澤 祐浩 (東大和二中・東久留米清瀬東村山兼任)	
係役員	救護 会計 記録	佐藤 倫子 (明治学院中) 古賀 彩乃 (東村山四中) 菅原 将人 (武蔵村山四中) 石川 大翔 (武蔵村山一中) 石川 大翔 (武蔵村山一中) 佐藤 倫子 (明治学院中) 古賀 彩乃 (東村山四中)
	賞状・賞品・獲得証 お昼手配 会場準備 片付け 本部・会場	菅原 将人 (武蔵村山四中) 石川 大翔 (武蔵村山一中) 菅原 将人 (武蔵村山四中) 石川 大翔 (武蔵村山一中) 亀澤 祐浩 (東大和二中) 係生徒 大会役員、補助係員 大島 清和 (東大和二中校長) 亀澤 祐浩 (東大和二中)
補助係員 (試合会場)	桜凜会 6名	武蔵野大学高 6名
係生徒 (前日会場設営)	東大和二中、東大和三中、東大和四中	
※試合会場他準備	大会前日に会場校が中心となって行う(15:00~)	
※片付け	大会終了後、大会役員、係役員、補助係員、係生徒の全員で行う	
審判主任・審判員		

10月20日(日) 男女別団体戦・男女別個人戦 東大和二中会場

	第一試合場	第二試合場
審判主任	村瀬 諒(日体大桜華中)	本多 華子(明保中)
審判員	勝山 文也(日大二高)	谷澤 洋一(武蔵野大学中)
	下村 聖二(武蔵野大学中)	原島 雅人(青梅剣連)
	中西光一郎(明治学院中)	中村 元則(世田谷剣連)
	菅原 将人(武蔵村山四中)	吉田 公一(東大和市剣連)
補助係員	永野 富郎(東大和市剣連)	亀澤 祐浩(東大和二中)
	桜凜会(6名)	武蔵野大学高(6名)

※自校生徒選手の試合については主審を行わない

3. 方法

- ・新人大会のため中学1・2年生のみの選手とする。
- ①オープン参加による男女別の団体戦。予選リーグ・決勝トーナメント方式とする。都大会出場決定戦を行う。規定に則った合同チームを認める。ただし、ひとつの学校が、単独校チームと合同チームの両方に、二つの合同チームの両方に参加申込することは認めない。
- ②オープン参加による男女別の個人戦。トーナメント方式。ただし、一つの学校から団体戦登録(選手・補員登録)している生徒からは2名まで、団体戦登録していない生徒は人数無制限の参加申込とする(合同チームの場合5人全員が個人戦に参加ということもあり得る)。都大会本戦には個人

戦はなくブロック大会のみの個人戦である。全ての部員生徒に大会参加、試合出場の機会を提供することを主たる目的とする。

#### 4. 規則

- ①全日本剣道連盟の試合・審判規則、同細則、及び剣道試合・審判運営要領、新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合審判法の今後の取り扱い、感染症予防ガイドラインによる。また、日本中学校体育連盟剣道競技部申し合わせ事項・重点指導事項・審判員共通認識事項による。あわせて、東京都中学校体育連盟剣道部申し合わせ事項、各連盟や自治体等からのガイドラインや通達、及び本大会申し合わせ事項による。
- ②・団体リーグ戦は、試合は3分間三本勝負とし、勝敗の決しない場合は引き分けとする。勝者数が多いチーム、勝者数が同じ場合は総得本数が多いチームを勝ちとし、勝者数得本数ともに同じ場合は引き分けとする。勝ち1点、引き分け0.5点、負け0点とし、勝ち点で、勝ち点が高い場合は総勝者数で、総勝者数も同じ場合には総得本数により順位を決定する。勝ち点、総勝者数、総得本数が全て同じ場合は、登録7名の任意の選手による代表戦(3分間一本勝負、延長は別記)を行う。
  - ・団体トーナメント戦では、試合は3分間三本勝負とし、勝敗の決しない場合は引き分けとする。勝者数が多いチーム、勝者数が同じ場合は得本数が多いチームを勝ちとする。勝者数得本数も同じ場合は登録7名の任意の選手による代表戦を行う(3分間一本勝負、延長は別記)。
  - ・個人戦は、試合は2分間一本勝負とし、勝敗が決しない場合は延長とする。
  - ・延長は、一本勝負とし、2分間ごとに時間を区切って行う。2分間→2分間→小休止→2分間→2分間→面を外して休憩 (以下繰り返す)
- ③竹刀は、長さ114cm以内、重さ男子440g・女子400g以上、太さは先端部の最小直径男子25mm以上・女子24mm以上、ちくとう部最小直径男子20mm以上・女子19mm以上とする。つば9cm以内、先皮5cm以上とする。先細竹刀や不正に細工したものは禁止する。柄革は滑り止め(ゴム等)や模様等の無い無地のもので白色とする。不正な竹刀を使用した場合は二本負けとする。事前に竹刀の手入れを行っておくこと。
- ④面紐の長さは結び目から40cm以内、目印の長さは70cm以内とする。面乳革は大きさ、色、模様も含めて華美にならないようにし、黒色または紺色とする。黒塗りにした面金などではなく通常の配色の面を使用すること。
- ⑤足袋やサポーター、コルセット、テーピング等を使用する際は審判主任に申し出て、許可を得ること。足袋やサポーター類については、滑り止めのための革やゴム等を使用していないものとする。ただし、指先単独でのテーピングについては、申し出は不要とする。
- ⑥選手は黒または紺地に白字、白地に黒字で校名と姓を記した『名札』を着用し、名札には必ず『～中』の文字が入っていて一枚袋であること。名札のない選手、不備の選手(校名の縫いつけ、『～中』の文字がない等)は失格とする。大会までに間に合わない場合は事前に相談すること。
- ⑦ベンチ入りできる者は、選手・補員・監督・監督補佐(事前に承認届を提出)のみとする。
- ⑧「安易に左拳を中心線から外す防御態勢(変形な構え等の防御態勢)」をとった場合は、一回目は合議の上「指導」、二回目以降は合議の上「反則」とする(公正を害する行為)。試合中の「かち上げ」「振り倒し」等の危険かつ見苦しい暴力的行為は慎むこと。
- ⑨ベンチ内への時計やフロアへの撮影機器の持ち込み等は禁止する。
- ⑩登録オーダーの変更は、補員以外とはできない。組み替えも不可とする。一度退いた選手は、それ以降の試合には出場できない。
- ⑪3人でチーム編成する場合は「中・副・大」に、4人でチーム編成する場合は「次・中・副・大」とし、後ろ詰めにすること。大会当日選手の不参加により5人に満たなくなったチームは、選手の登録順は変えずに後ろに詰めること。この場合、当日に団体戦名表を新たに書き換えること。大会当日途中で怪我などより棄権になった場合も同様にする。
- ⑫3人チーム4人チームと対戦する場合は、自チームの不戦勝(二本勝ち)の者を任意に決め、残りの選手を登録順通りに後ろ詰めにして試合を行う。審判主任に確認すること。団体戦開始時のチームの挨拶時に再度確認する。
- ⑬その他については大会当日開会式にて審判長もしくは大会実行委員より説明する。
- ⑭中体連剣道部主管の公式大会において合同チームは、令和6年度の秋季都大会新人大会まで認められている。
- ⑮監督は顧問(校長、教員、部活動指導員)とする。個人戦において自校の顧問が監督できない場合は、他校の顧問に依頼するか、第11ブロック剣道競技責任者が兼ねる。この場合は申込書に依頼した監督名のあとに依頼した監督の所属校を明記する。監督について特別な事情がある場合には事前に11ブロック剣道競技責任者に相談すること。引率者、監督補佐については各学校で正式に認められた成人とする。
- ⑯保護者の車での上校は控えること。近隣のコインパーキングを利用すること。
- ⑰感染症感染拡大防止の取り組みとして、以下のような対応を予定する。変更や追加がある際には、各校にファックスで周知し、ホームページ掲載等、顧問会時と大会当日の開会時に説明する。
  - (1) 男女同時に受付し、同時に開会する。男子試合場と女子試合場の二つの試合場で同時進行とす

- る。
- (2) 試合者はマウスシールドか面マスクどちらかの装着を必須とする。併用や一体型シールドは認める。
- (3) 試合者のアイガードの装着は任意とする。
- (4) 試合者の試合時以外については、マスクの着用は任意(試合者個人及び保護者の判断)とする。
- (5) 昼休憩の時刻は未定であるが、屋外・手洗い・消毒など、引き続き感染拡大防止に務める。
- (6) 見学応援については、試合に出ない剣道部員及び剣道部員の保護者のみ(学校関係者のみ)とし、マスクの着用は任意とする。
- (7) 応援は拍手のみとする。
- (8) 審判員は審判時にはマスクをはずす。大会役員、審判員、係役員、補助係員、係生徒はマスクの着用を任意とする。
- (9) 改訂された全日本剣道連盟の試合・審判規則、同細則、及び剣道試合・審判運営要領、新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合審判法の今後の取り扱い、感染症予防ガイドラインを遵守する。試合者は鏝競合いを避ける。やむを得ず鏝競合いになったときは、ただちに引き技を出すか、速やかに分かれることを継続する。
- (10) 開会時に審判長より説明し反則行為の共通理解を図る。本大会においては選手への指導も兼ね、審判員が積極的に注意する。
- (11) 会場校の負担軽減のため個人で使用する消毒用品・救急セット等は各校各自で持参すること。
- (12) 選手及び補員、監督、監督補佐、顧問、各学校が認めた引率者、見学生徒、生徒の保護者、大会役員、審判員、係役員、補助係員、係生徒のみ入場可とする。一般の入場は認めない。
- (13) 敗退したチーム(生徒)は、決勝戦まで見学することを可とする。
- (14) 外部指導者は、都中体連剣道部に登録申請し認められた者になります。大会当日にIDカードを携帯すること。
- (15) 団体戦において、チームで監督は1名、監督補佐も1名。共に顧問や部活動の指導者となります。
- (16) 引率については、「令和6年度 東京都中学校体育大会実施要項」に基づき、校長・教員・部活動指導員・学校職員など、各校で認められた者に限ります。

## 5. 表彰

- ・団体優勝チームに持ち回り優勝旗(前季大会優勝:女子・日体大桜華中、男子・武蔵野大学中)
- ・団体戦 優勝(賞状・賞品)、準優勝(賞状・賞品)、第三位(2チーム・賞状・賞品)、都大会出場権獲得証
- ・個人戦 優勝(賞状)、準優勝(賞状)、第三位(2名・賞状)

## 6. 大会当日各校で準備するもの

- (1) 名札
- (2) 紅白目印
- (3) 団体戦名表

武蔵村山一中
石川
大

(名札)

27  
cm

西東京市	先	次	中	副	大
明保中	菅原	本多華	佐藤	本多真	古賀

(団体戦名表) 模造紙 4分の1 79cm

- ・白模造紙 4分の1
- ・同姓の選手がいる場合は名前の一文字まで
- ・女子は支部名の下に赤アンダーラインを引く

### (4) 個人戦名表 A4縦2分の1

- ・白A4用紙縦2分の1
- ・同姓の選手がいる場合は名前の一文字まで
- ・上部にトーナメントの選手番号を記入
- ・女子は支部名の下に赤アンダーラインを引く

1
村瀬
日体大桜華中

## 7. 注意

- ・必ず、顧問、学校で了承された成人などが引率し、受付を行ってください。
- ・会場内で、試合待機中においては、態度が乱れぬよう各校で自覚すること。会場校に迷惑がかからないようにすること。
- ・ビン、缶、ガムや菓子類の持ち込みは禁止する。違反した場合は失格の場合もある。保護者からの差し入れなども同様とする(自粛すること)。
- ・外履きは各自で靴袋などに入れ、防具袋やカバンなどに保管すること。屋内でのキャスターの使用は禁止する。雨天の場合の傘についても同様に袋に入れること。整理整頓を心掛けること。
- ・貴重品は各自(各校)で管理し責任を持つこと。
- ・審判員は全剣連指定の服装(紺ブレザー・白ワイシャツ・えんじネクタイ・グレーズボン・紺靴下、女性審判員もこれに準じた服装)を着用すること。監督・監督補佐もこれに準じた服装とする。
- ・選手及び補員生徒、監督、承認を受けた監督補佐、引率者、顧問、見学応援の剣道部員生徒、生徒保

護者、大会役員、審判員、係役員の先生、補助係員、係生徒のみ入場を認めます。

- ・会場校への自動車駐車はできません。
- ・公共交通機関、特に路線バスを利用する際は節度を持った行動を心掛けること。
- ・大会当日の体調不良等による欠席の場合は、受付時間に連絡をお願いします。
- ・本大会は、大会役員・審判員・係役員の先生と、補助係員の高校生まで大会本部で昼食を準備する。

8. その他
- ・同じ剣道競技の大会でも、大会毎ごとに、入場の制限・感染拡大防止の取り組み・昼食の手配が異なります。要項やプログラムなどをご確認ください。
  - ・東京都中学校体育連盟剣道部ホームページ「<https://ctrtokyokendo.jp>」も定期的に参照ください。
  - ・秋季都大会申し込みについて（ホームページに掲載済みです）  
各支部(市)の剣道専門委員または11ブロック剣道競技責任者東大和市立第二中学校 亀澤祐浩  
2070014 東大和市南街3-60-4 T042-561-2328 F042-590-7029  
10月21日(月)までに持参もしくは郵送すること。必用な書類を事前に見込みで作成し、  
10/20(日)の大会当日持参し、都大会出場権を獲得したら閉会式後に提出だとスムーズです。  
合同チーム申請書はブロック大会に提出したものをそのまま都大会に提出します。

※ 参考 東京都中学校体育連盟剣道部 複数校の合同チームによる参加について  
(令和7年度より東京都中学校体育連盟剣道部主管の夏季大会と秋季大会の両都大会は、  
合同チームでの参加は認められません)

- ・個人戦の行われない秋季大会のみ合同チームを認める。
- ・東京都中学校体育連盟に加盟し、剣道部が登録された、学校部活動単独校同士による合同チームであることとする。
- ・チームは同一支部(同一区市郡島)内の2校または3校の生徒であることを原則とし、国立、都立、各区市町村立、私立学校等の合同チーム編成を可能とする。
- ・合同チームは、部員数が試合参加の必要最低人数を下回った学校同士の編成を原則とし、各校のうち、各校とも、あるいはいずれかの学校が試合参加の必要最低人数を確保できない場合とする。
- ・各学校で剣道部として成立していることを原則とする。
- ・各校の校長の承認のもとに、計画的・継続的に練習が行われている。試合参加のみということでは認めない。
- ・合同チームのある地区(支部)が、1つのチームとして認定し、地区大会、支部大会、ブロック大会への参加を認めていること。
- ・顧問は各学校の校長・教員・部活動指導員とし、各校それぞれの顧問か、各校の代表顧問が引率をする。ただし、代表顧問は、校長・教員とする。部活動指導員は代表顧問にはなれない。
- ・チーム名は各校名の併記とする(〇〇・△△・□□中学校)か、地区名、支部名を使用する(☆☆市合同)。
- ・一つの学校が、単独校チームと合同チームの二つとして大会参加することは認めない。

- 細目
- ①「計画的・継続的な練習」とは試合のためにのみ合同で活動するのではないという確認のもとで、各校の校長の判断とする。
  - ②合同チームを組むための条件は、各校のそれぞれの部員数が以下の12通りのうちのいずれかの場合のみである。部員数が2名以下の学校を救済することを主眼とする。

a・1人+1人+1人	b・1人+1人+2人	c・1人+1人+3人	d・1人+1人+4人
e・1人+2人	f・1人+2人+2人	g・1人+3人	h・1人+4人
i・2人+2人	j・2人+2人+2人	k・2人+3人	l・2人+4人

    - ・事前に「合同チーム編成承認願」を各支部長に提出し、支部長とブロック長の承認を受ける。
    - ・大会申込時に「合同チーム申請書」を剣道競技責任者に提出する。

※東京都中学校体育連盟剣道部ホームページ「<https://ctrtokyokendo.jp>」も定期的に参照ください。

※都大会では竹刀の検量(重さ、長さ、ちくとう部の直径、つば、先皮、中結の位置、ささくれ、弦、たるみ等)が検査され、合格し検印された竹刀だけが使用を認められます。

※第11ブロック中学校剣道部では顧問同士の情報の共有を図るためにグループラインを活用しています。是非ご参加ください。

※審判員の先生で必要な方は講習手帳をご持参ください。

※令和6(2024)年11月24日(日)午後には都中体連剣道部教職員剣道大会が行われます。11ブロック単独チームでの参加を予定しています。参加可能の先生は亀澤までお申し出ください

※令和7(2025)年3月2日(日)東大和二中において、第11ブロック中学校剣道研修会(錬成会(練習試合)形式)を予定しています。年明け2月になりましたら、要項をホームページに掲載します。

※本年度は、都大会本戦で個人戦の行われない春季地区大会と秋季ブロック大会で、ブロック止まりの個人戦を、参加制限(団体戦登録選手補員生徒から2名まで、団体戦に出場しない生徒は無制限)を設けて、2分間一本勝負で個人戦を行いました。現行の個人戦の方式と、年2回の研修会の方式に、ご意見等あれば、亀澤までお申し出ください。来年度の参考(検討事項)にしたいと思えます。

以上

令和6年度 東京都中学校体育連盟第11ブロック中学校秋季剣道大会新人大会  
女子団体戦

トーナメント表等の数字は試合番号(試合場-試合順)をあらわす  
試合場を移動しても試合番号は変えないこと  
チーム番号が小さい方が赤(主審の右側)  
大きい方が白(主審の左側)

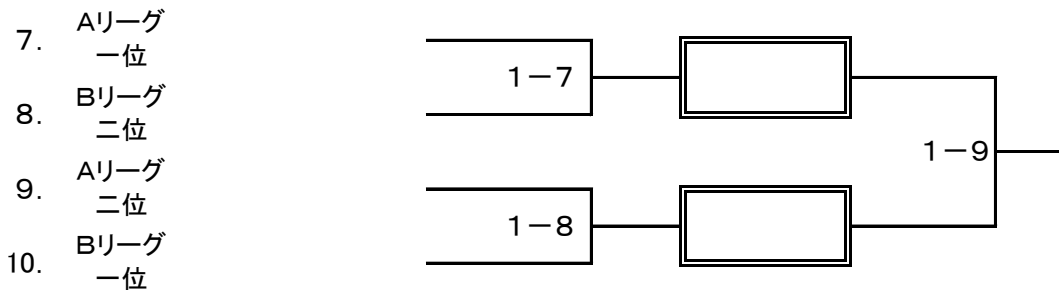
決勝トーナメントは男女同時に行う  
大会当日に怪我や発熱などで選手が三人に満たなくなった場合でもチームの敗退(勝ち点0)は  
確定した状態ではあるが本大会申し合わせ事項により残った選手で試合を行う

二重線枠が都大会出場校

Aリーグ	予選リーグ	日体桜華	田無-武蔵野大	東大和二		勝ち点	勝者数	得本数		順位
1.	日体大桜華中	—	—	—	—					
2.	田無-武蔵野大学中	—	—	—	—					
3.	東大和二中③	—	—	—	—					
		—	—	—	—					

Bリーグ	予選リーグ	明保	明学	武村一		勝ち点	勝者数	得本数		順位
4.	明保中	—	—	—	—					
5.	明治学院中	—	—	—	—					
6.	武蔵村山一中	—	—	—	—					
		—	—	—	—					

試合番号(試合場-試合順)	リーグ	赤	白
1-1	B	明保中	武蔵村山一中④
1-2	A	日体大桜華中	東大和二中③
1-3	B	明治学院中	武蔵村山一中④
1-4	A	田無-武蔵野大学中	東大和二中③
1-5	B	明治学院中	明保中
1-6	A	田無-武蔵野大学中	日体大桜華中



トーナメント  
3(7) 2(4)代 1(3)代延  
勝者数(得本数)

リーグ  
勝ち 負け 引分  
○ △ □

7 得本数  
3 勝者数

令和6年度 東京都中学校体育連盟第11ブロック中学校秋季剣道大会新人大会  
男子団体戦

トーナメント表等の数字は試合番号(試合場-試合順)をあらわす  
試合場を移動しても試合番号は変えないこと  
チーム番号が小さい方が赤(主審の右側)  
大きい方が白(主審の左側)  
決勝トーナメントは男女同時に行う

大会当日に怪我や発熱などで選手が三人に満たなくなった場合でもチームの敗退(勝ち点0)は  
確定した状態ではあるが本大会申し合わせ事項により残った選手で試合を行う

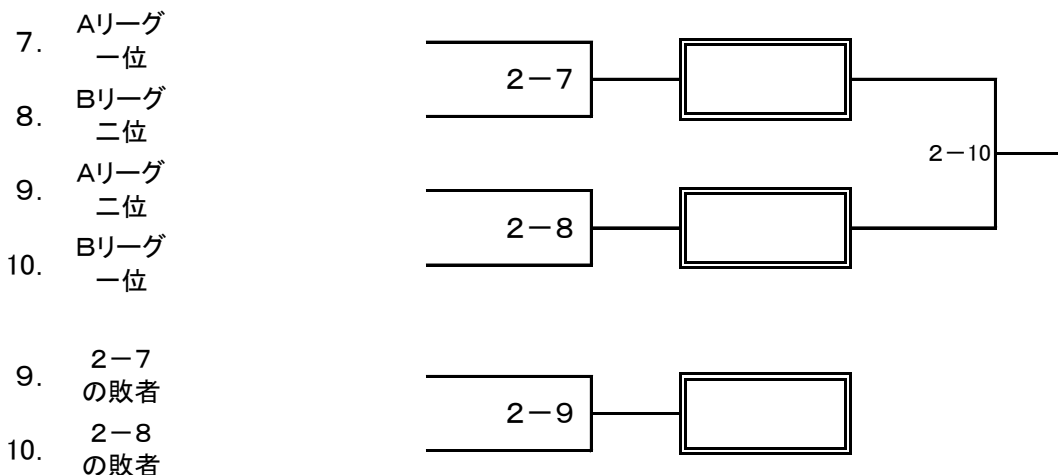
二重線枠が都大会出場校

Aリーグ	予選リーグ	武蔵野大	田無一	明治学院		勝ち点	勝者数	得本数		順位
1.	武蔵野大学中	—	—	—	—					
2.	田無一中	—	—	—	—					
3.	明治学院③	—	—	—	—					
		—	—	—	—					

Bリーグ	予選リーグ	東村山四	明保	東大和二三四		勝ち点	勝者数	得本数		順位
4.	東村山四中	—	—	—	—					
5.	明保中	—	—	—	—					
6.	東大和二三四中	—	—	—	—					
		—	—	—	—					

試合番号(試合場-試合順)	リーグ	赤	白
2-1	B	東村山四中	東大和二三四中
2-2	A	武蔵野大学中	明治学院③
2-3	B	明保中	東大和二三四中
2-4	A	田無一中	明治学院③
2-5	B	明保中	東村山四中
2-6	A	田無一中	武蔵野大学中



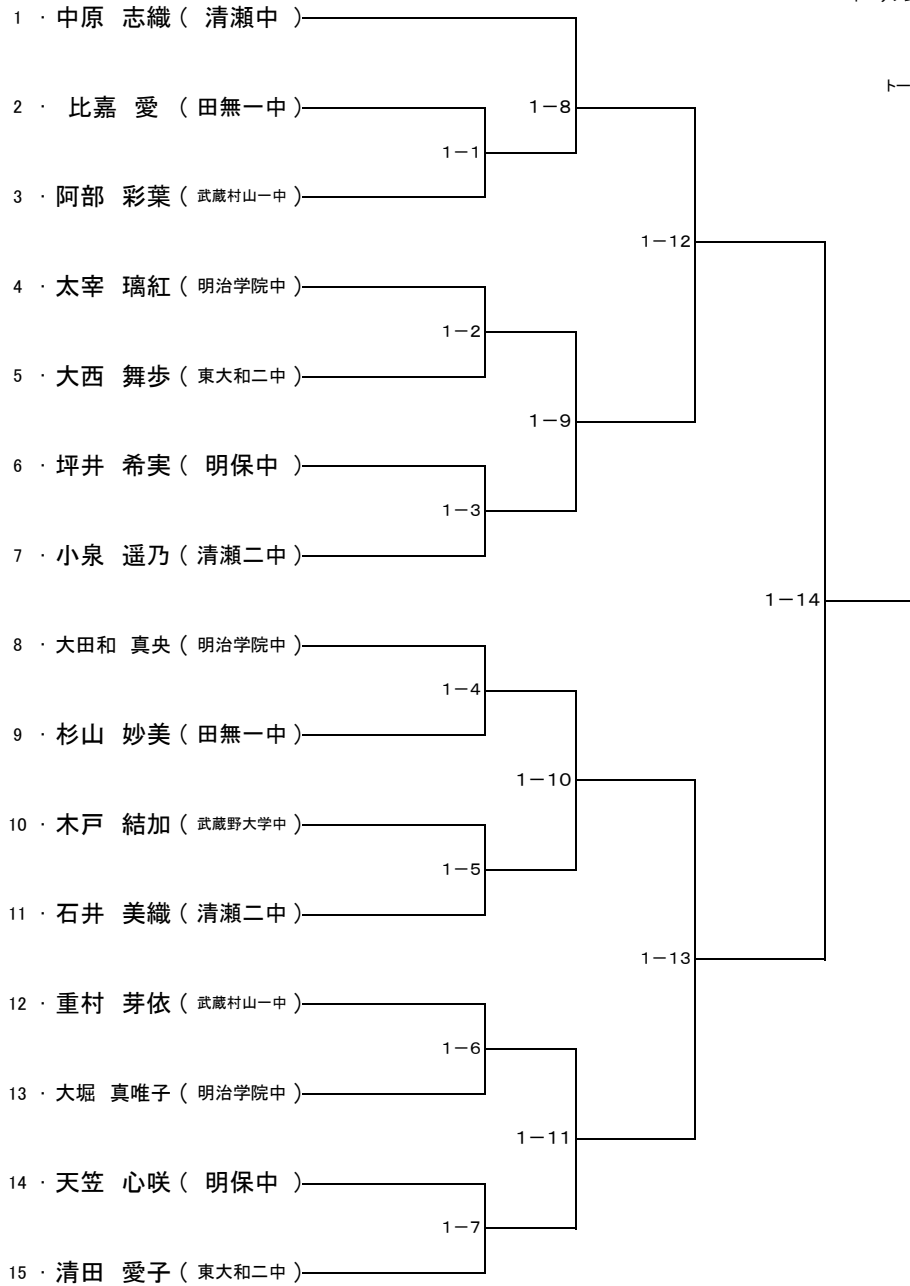
トーナメント  
3(7) 2(4)代 1(3)代延  
勝者数(得本数)

リーグ  
勝ち 負け 引分

○ △ □

7 得本数  
3 勝者数

令和6(2024)年度 東京都中学校体育連盟第11ブロック中学校秋季剣道大会新人戦  
女子個人戦



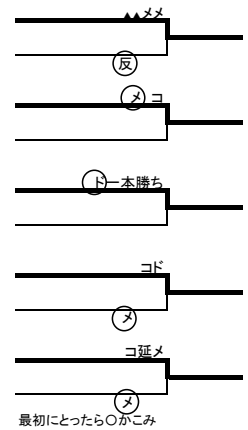
トーナメント表の数字は試合番号(試合場-試合順)を表す

試合場を移動しても、試合番号は変えないこと

トーナメントの選手番号が小さい方が赤(主審の右側)

大きい方が白(主審の左側)

準決勝と決勝は男女同時に行う





令和6(2024)年度 東京都中学校体育連盟第11ブロック中学校秋季剣道大会新人戦  
男子個人戦

トーナメント表の数字は試合番号(試合場-試合順)を表す  
 試合場を移動しても、試合番号は変えないこと  
 トーナメントの選手番号が小さい方が赤(主審の右側)  
 大きい方が白(主審の左側)  
 準決勝と決勝は男女同時に行う

